SPECIAL PARTS TAKEGAWA

８８ｃｃ レギュラーシリンダーヘッドキット　取扱説明書

商品番号　　：０１－０３－３２０１
適応車種　　：６Ｖモンキー・ゴリラ
フレーム番号：Ｚ５０Ｊ－１３０００１７～１５１０４００

正しく安全にご使用頂くために

・この度は、TAKEGAWA 商品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。ご使用になられる前に必ずこの説明書をよくお読み頂いて内容を把握下さいます様お願い致します。
・取り付け前には、必ず製品内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。
・当製品は上記車体番号以降の車両専用となっております。上記番号以前の車両には、ピストン寸法が異なるため取り付け出来ませんのでご注意下さい。
・当製品を組み付けた車両を一般道路で運転するには自動二輪小型限定以外の免許を取得されている方に限られます。又、市町村役場へ原付一種から原付二種への変更届を提出し、任意保険及び強制賠償保険は、排気量増大の申請手続きを行なって下さい。
・作業を行う際は必ず各車種専用のホンダサービスマニュアルを参照し確実に行って下さい。又、この説明書やサービスマニュアルは基本的な技能や知識を持った人を対象としていますので技能や知識を持っていない人が作業を行った場合、正しく組み付け出来ない場合があります。
・このキットにはカムシャフトは付属しておりません。別途専用カムシャフトをお買い求め下さい。
　０１－０８－０３：低中速タイプ、０１－０８－０６：中高速タイプ
・当製品を単独で使用した場合、本来の性能が発揮出来ません。必ずエンジンに見合ったキャブレター、マフラーに交換して下さい。
・排気量を増大した場合、スーパーオイルポンプ、ダイハードαカムチェーンへの変更をお薦めします。
・スパークプラグは、（ＮＧＫ）Ｃ８ＨＳＡ／（ＤＥＮＳＯ）Ｕ２４ＦＳ－Ｕを基準とし、プラグの焼け具合により熱価を決定して下さい。
・燃料は必ず無鉛のハイオクタン価ガソリンをご使用下さい。
・エンジン回転計を取り付け必ず指示されたエンジン回転数を守ってご使用下さい。
●シリンダーヘッドガスケットは、シリンダーの種類によって使用する物が異なります。必ず指示に合ったシリンダーヘッドガスケットを使用して下さい。

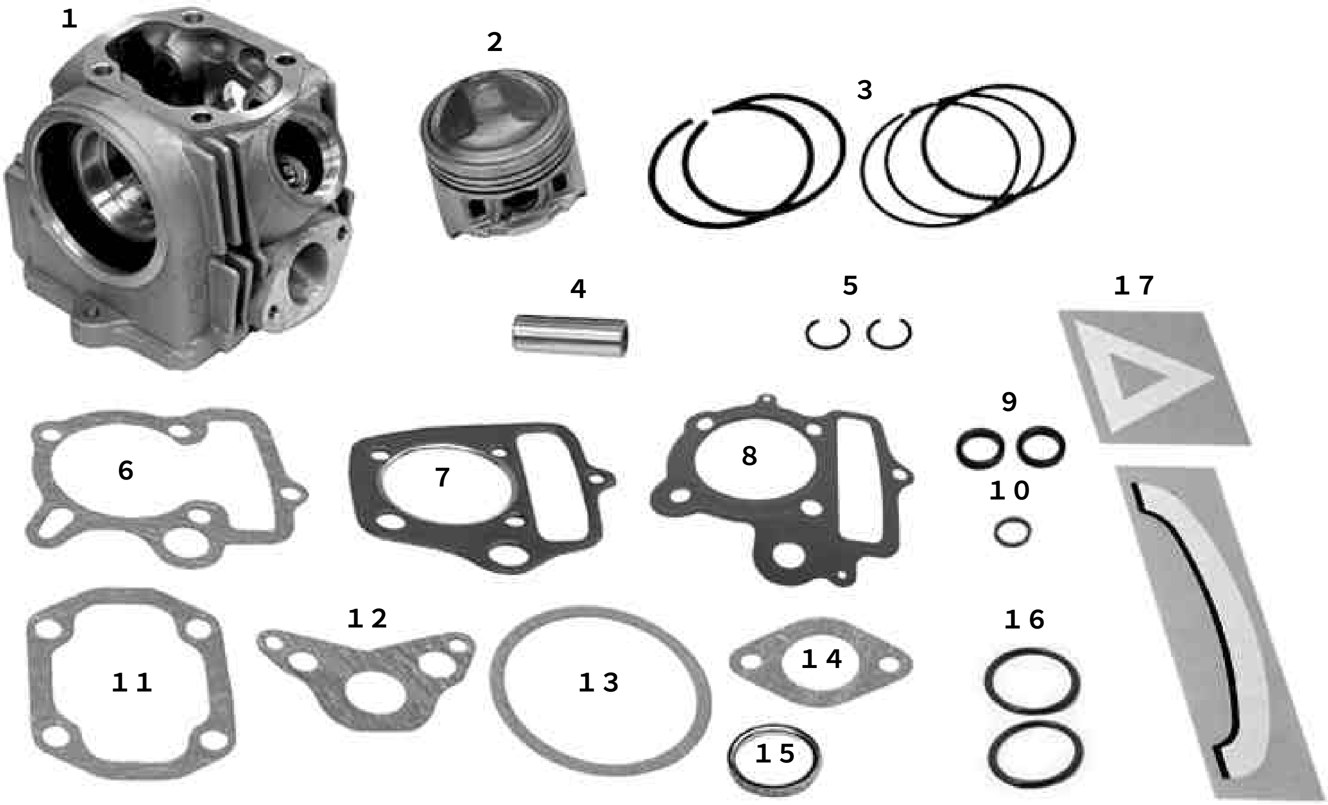
⚠注意　下記内容を無視した取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

・作業等は必ず冷間時（３５℃以下）に行って下さい。エンジンやマフラーが冷えていない状態で作業を行った場合、火傷の原因となります。
・作業を行う際は、必ずその作業に適した工具を用いてボルト、ナット類は必ずトルクレンチを使用し指定トルクで確実に締め付けて下さい。
　※シリンダーヘッドは、必ず指定トルクで増し締めを行って下さい。
・キット内部品及び指示された部品以外の使用や加工、他社製品との組み合わせ等は一切行なわないで下さい。部品を破損させる可能性があります。
・ガソリンは非常に引火しやすいため作業は火気厳禁とし、裸火や電気のスパークによる火花にも十分注意して下さい。又、蒸発したガソリンは爆発の危険性があるため通気の良い場所で作業を行って下さい。
・エンジン回転数は必ず１２０００ｒｐｍ以下でご使用下さい。過回転させた場合、部品の摩耗やエンジンを破損させる可能性があります。
・走行前には必ず各部を点検し、ボルト、ナットの緩みやオイル漏れ等の有無を確認して下さい。又、走行中異常が発生したと思われる場合は、直ちに車両を安全な場所に停車させ異常箇所の点検を行って下さい。

◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で商品および価格は予告無く変更されます。あらかじめご了承下さい。
◎クレームについては、商品の材料および加工に欠陥があると認められた商品に対しては、商品お買い上げ後１ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて戴きます。但し、正しい取り付け、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。
◎この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

Mar/01/ 05

～商　品　内　容～



番号	部　品　名	個数	番号	部　品　名	個数
1	シリンダーヘッドCOMP.	1	10	ラバーガスケット　7.5mm	1
2	ピストン	1	11	シリンダーヘッドカバーガスケット	1
3	ピストンリングセット	1	12	R. シリンダーヘッドサイドカバーガスケット	1
4	ピストンピン	1	13	L. シリンダーヘッドサイドカバーガスケット	1
5	ピストンピンサークリップ	2	14	インレットパイプガスケット	1
6	シリンダーガスケット	1	15	エキゾーストパイプガスケット	1
7	シリンダーヘッドガスケット（アスベスト1.0mm）	1	16	Oリング　30.8	2
8	シリンダーヘッドガスケット（メタル0.25mm）	1	17	原付2種マークセット	1
9	ラバーパッキン　16mm	2			

～エンジン取り付け要領～

●アルミシリンダーの組み付け

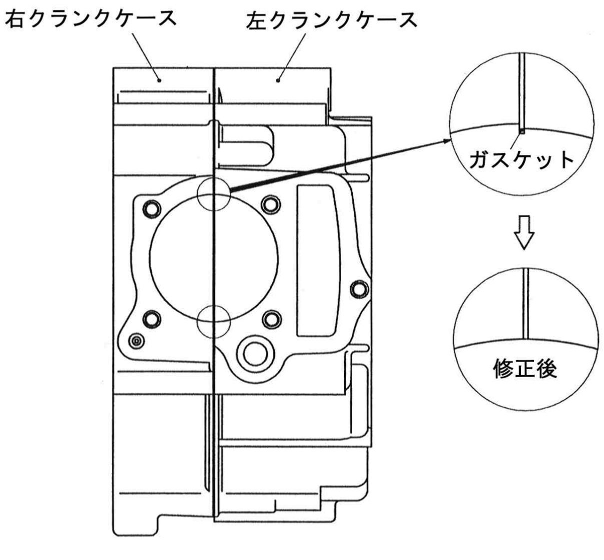
左右クランクケースのズレ等により、シリンダーを取り付ける際クランクケース合わせ面スリーブ穴丸印部分とシリンダースリーブ斜線部分及びケース内部で干渉する場合があります。
そのままの状態で使用するとスリーブが変形しエンジントラブルの原因となりますので必ず点検、修正して下さい。（図参照）

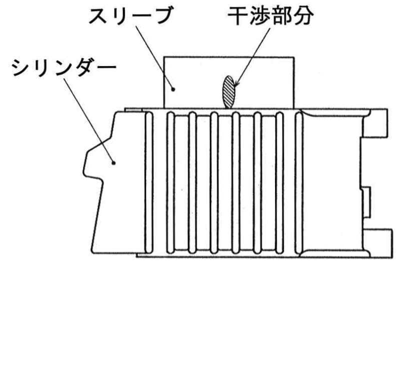
１．クランクケースを分割し、クランクシャフト、トランスミッション、シフトドラム、キックスタータースピンドルを取り外し、クランクケースを単体の状態にして下さい。

２．クランクケースにノックピン１０×１４を取り付けてクランクケースを合わせズレがある場合はヤスリ等で段差が無くなるまで削って下さい。

３．クランクケースを合わせた状態でノックピン８×１２を取り付けシリンダーをクランクケースに取り付けます。この時、シリンダースリーブがクランクケース内部と干渉している部分が無いかを点検します。干渉している場合は、ヤスリ等でクランクケースを削り、シリンダースリーブがどの部分とも干渉しない事を確認して下さい。

４．クランクケースを洗浄し、各部分を組み込みます。クランクケースボルトを規定トルクで締め付け後、クランクケーススリーブ穴部分の合わせ面よりはみ出しているクランクケースガスケットをカッター等で切り取って下さい。
以上の事柄に注意し確実に作業を行って下さい。





●カムシャフトとロッカーアームの組み付け

◇付属のカムシャフトのベアリング部とカム山にエンジンオイルを塗布します。
◇カムシャフトをまっすぐに手で押し込みます。
※シリンダーヘッドの個体差により、かた目の物もありますがまっすぐにすれば手で入ります。ハンマー等で絶対たたき込まないで下さい。たたいて壊してもクレームにはなりません。
◇ロッカーアームのシャフト穴と摺動面にエンジンオイルを塗布します。
◇ロッカーアームシャフトにエンジンオイルを塗布して、シリンダーヘッドに差し込み、ロッカーアームに通して奥まで押し込みます。

●ピストンの組み付け

◇クランクケースのシリンダーホールとカムチェーンホールにウエスを詰込みます。（部品脱落防止の為）（図１参照）
◇ピストンのピン穴の片方にピストンピンクリップを取り付けます。
※ピストンピンクリップの合い口はピストンピン穴の切り欠き部を避け、ピストンに対して上下方向に合わせて下さい。
◇ピストンのリング溝にエンジンオイルを塗布し、図２を参考にしてピストンリングを取り付け、合い口を合わせます。
◇ピストンピン穴、コンロッドのピン穴、ピストンピンにエンジンオイルを塗布し、ピストンをコンロッドに取り付けます。
※このとき、ピストンの↓印が、エキゾースト側に向くように、ピストンを取り付けて下さい。
◇ピストンのピン穴のもう片方にピストンピンサークリップを取り付けます。
◇詰めていたウエスを外します。

図１

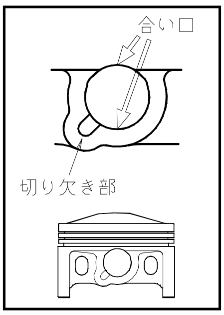
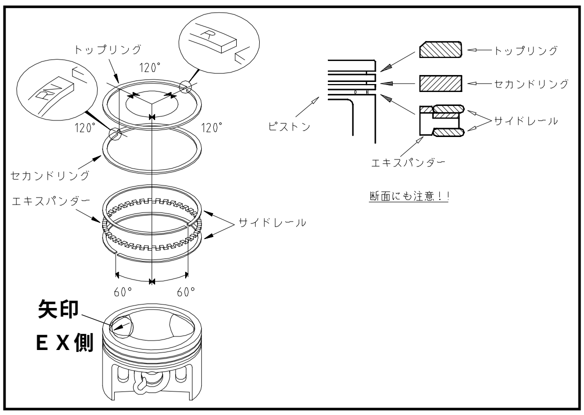


図２



●シリンダーの組み付け

◇クランクケースとシリンダーの合せ面をシンナー等で脱脂します。
◇ノックピンＢ（長さ１２mm）を２個、シリンダーガスケット、ラバーパッキン（ブラック）１個を取り付けます。
◇キットのシリンダーの内側にエンジンオイルを塗布し、ピストンリングの合い口がずれないようにシリンダーをはめ込んでいきます。
◇カムチェーンをシリンダーに通してシリンダーをクランクケースにはめ込みます。
◇ガイドローラーとシリンダーサイドボルトを仮止めします。

●シリンダーヘッドの組み付け

◇シリンダーとシリンダーヘッドの合せ面をシンナー等で脱脂します。

◇シリンダーにノックピンA（長さ１４mm）を２個取り付け、シリンダーヘッドガスケットを取り付けます。

注意：シリンダーの種類により使用するシリンダーヘッドガスケットは異なるので、間違わないよう注意して下さい。

Vシリンダーの場合



◎０.２５mm厚のメタルガスケットを使用

ＳＴＤシリンダーの場合

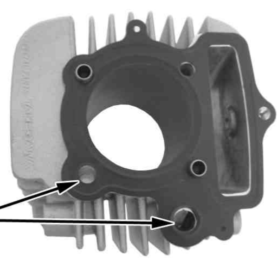


◎１.０mm厚のアスベストガスケットを使用

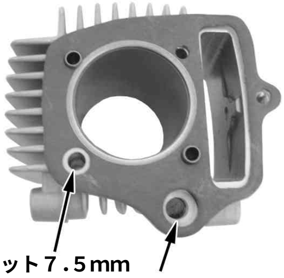
⚠ 注意：シリンダーヘッドガスケットを間違って使用するとエンジン破損の原因につながる恐れがあります。

◇ＳＴＤシリンダーの場合、ラバーパッキン１６mmとラバーパッキン７.５mmを取り付けます。
Vシリンダーの場合、ラバーパッキンを使用せずにシリンダーヘッドを取り付けます。

Vシリンダーの場合



ＳＴＤシリンダーの場合



⚠ 注意：ラバーパッキンの使用を間違うとエンジン破損の原因につながる恐れがあります。

◇シリンダーヘッドにカムチェーンを通しながら取り付けます。カムチェーンは落ちないようにしておきます。

◇シリンダーヘッドとシリンダーヘッドカバーの合せ面をシンナー等で脱脂します。

◇シリンダーヘッドカバーガスケットとシリンダーヘッドカバーを取り付けます。ヘッドワッシャとヘッドナットを位置に注意して取り付け、規定トルクで締め付けます。

規定トルク：１１N・ｍ（１.１kgｆ・ｍ）

◇先に仮止めしていたガイドローラーボルトとシリンダーサイドボルトを規定トルクで本締めし、シリンダーヘッドサイドボルトを規定トルクで締め付けます。

規定トルク：共に、１０N・ｍ（１.０kgｆ・ｍ）

●カムスプロケットの組み付け

◇カムシャフトを圧縮上死点の状態にし、フライホイールの“Ｔ”マークをクランクケースの切り欠き部に合せます。

◇カムスプロケットの“○”マークがシリンダーヘッドの切り欠き部に合うように、カムチェーンをカムスプロケットに掛け、カムシャフトに差し込みます。

◇スクリュー３本でカムスプロケットをカムシャフトに規定トルクで取り付けます。

規定トルク：９N・ｍ（０.９kgｆ・ｍ）

●タペット調整

◇圧縮上死点であることを確認し、アジャストボルトとアジャストナットをロッカーアームに取り付け、タペット隙間をＩＮ、ＥＸ共に０.０８mmに合わせます。

◇フライホイールを反時計方向に回してふたたび圧縮上死点にし、タペット隙間が変化していないか確認します。タペット隙間が変化していなければ、アジャストナットが締まっていることを確認し、タペットキャップ２個を規定トルクで取り付けます。

規定トルク：１２N・ｍ（１.２kgｆ・ｍ）

◇Ｌ.シリンダーヘッドサイドカバーガスケットとＬ.シリンダーヘッドサイドカバーを取り付け、規定トルクで締め付けます。

規定トルク：１０N・ｍ（１.０kgｆ・ｍ）

SPECIAL PARTS TAKEGAWA
〒５８４－００６９
大阪府富田林市錦織東三丁目５番１６号
TEL ０７２１－２５－１３５７
FAX ０７２１－２４－５０５９
URL http://www.takegawa.co.jp